

五ヶ年連続優勝を目指して

大阪周囲山脈の研究

前号までクラブ展覧として一号に多数のクラブを網羅して報道しておりましたがその内容も粗雑でしかも浅いものがありましたので本号より二つ乃至三つのクラブを重点的に深く掘り下げて検討していく方針をとりました。

初めに本校に於て地味であるが伝統古くその研究発表に四年連続優勝の記録をもつている白鷺の存在地理歴史研究部をたずねました。

地歴部

四年連続優勝の記録をもつ地理歴史研究部は今年も十月十五日その成果を発表する。研究テーマに昨年と同じく大阪を中心とした山脈地方の農山村の経

済構成その他の地理学的方面から見た調査であり今年には生駒山脈附近の東西交通・経済構造を主な題目とする。調査活動はスタートがおくれその期間に完成せず例年は夏休みを利用して行つたが、十一

日一部学校を公欠して調査に赴くという状態になった。調査にあつては部落毎にその学校と連絡して学生の家に宿泊したり、もしくはテントを設けたりしているが、その費用が大変なところだ。

このクラブも新聞に部員集集宣伝をたのむ程度部員難をかかっている。登録人数は19人例のごとく活動人員は三年に二八二年三八一年一人という状態。研究に当つてのなやみは、農家が自家の経済状態を正確に云わず過少にいつたりし大きな障害になること。しかしその土地々々の古蹟などから縄文式文化時代などの土器片を発見したりするのが楽し

いところだ。又この部では機関誌「土地と人」を発行している。次号は文化祭発行の予定。十一月三日文化の日に行われる大阪府高等学校社会科研究会の発表会に五ヶ年連続優勝を目指してひたすら研究に没頭している。

- 補導教員 高田先生
- 部長 広美憲治郎(二年)
- 会計 前田 修(二年)

進出したいのであるが交通費等の問題等がありそこまで手がのばせないところだ。予算要求額一万三千八百六十円、決定額二千七百円也